目 次

第１講 古代 ………………………………………………………………… p 2

第２講 中世 ………………………………………………………………… p12

第３講 近世 ………………………………………………………………… p20

第４講 近代① ……………………………………………………………… p30

第５講 近代②・現代 ……………………………………………………… p38

第１講　古代

弥生時代

５７年　**来(こ)な**いはずだよ金印授(さず)けて
奴(な)国王，後漢の光武帝(こうぶてい)〔劉秀(りゅうしゅう)〕より金印を授(さず)かり冊封(さくほう)される。

１０７年　言(い)おうな冊封(さくほう)してくれと
倭国王帥升(すいしょう)ら，後漢の安帝(あんてい)に生口(せいこう)160人を献上(けんじょう)。

２３９年　**兄(にい)さん苦(くる)**しい魏へのおつかい
邪馬台国(やまたいこく)連合の女王卑弥呼(ひみこ)，魏に遣使し「親魏倭王(しんぎわおう)」の称号を授かる。

古墳時代

３９１年　**先行(さきい)**くよ鉄を奪いに
倭，高句麗(こうくり)に敗(やぶ)れる？⇒好太王(こうたいおう)碑に刻まれた“辛卯(しんぼう)の年”。

４７１年　竹刀(しない)ではなく鉄剣に銘文(めいぶん)
稲荷山(いなりやま)古墳出土鉄剣（埼玉県）に刻まれた“辛亥(しんがい)”年。

４７８年　**支那(シナ)は**アコガレ倭王の武
倭王武（雄略天皇），南朝の宋に上表文を送る。

５１２年　故意(こい)に与えた任那(みまな)四県
大連(おおむらじ)大伴金村，任那〔伽耶(かや)〕四県を百済(くだら)に割譲(かつじょう)。

５２７年　**いつにな**く本気の磐井(いわい)
筑紫国造(くにのみやつこ)磐井，新羅(しらぎ)と結びヤマト政権の継体(けいたい)天皇に反乱。

５３８年 **意味は**わからぬ仏教公伝

百済の聖明王，欽明天皇に仏教を公伝(『上宮聖徳法王帝説』『元興寺縁起』)。

５５２年 **ここに**仏教公伝す

百済の聖明王，欽明天皇に仏教を公伝(『日本書紀』)。

５６２年 公務にマイナス伽耶の滅亡

新羅により伽耶諸国〔任那〕滅亡。

５８７年 **いやな**物部，守屋で滅亡

蘇我馬子(大臣)，物部守屋(大連)を滅ぼす。

５８９年 公約どおり南北統一

隋，南北朝を統一(初代皇帝楊堅)。

５９２年 虚空に泳ぐ崇峻の視線

崇峻天皇(もと泊瀬部皇子)，蘇我馬子に殺害される。

飛鳥・白鳳時代

５９３年 ごく身内なので摂政就任

聖徳太子〔厩戸皇子〕，推古天皇の摂政・皇太子に就任。

６０３年 群れさんざめく十二階

聖徳太子，冠位十二階の制を制定。

６０４年 労使関係定めた憲法

聖徳太子，憲法十七条を制定。

６０７年　**群**(む)**れな**きゃ恐怖の遣隋使
第一回遣隋使？として小野妹子(おののいもこ)を派遣。

６１８年　ロイヤリティない隋にサヨナラ
唐の建国（初代皇帝李淵(りえん)）。

６３０年　**ロミオ**の気分で遣唐使
第一回遣唐使として犬上御田鍬(いぬがみのみたすき)を派遣。

６４３年　虫(むし)みたく死んだ山背大兄(やましろのおおえ)
蘇我入鹿(いるか)，斑鳩宮(いかるがのみや)で聖徳太子の子，山背大兄王を殺害。

６４５年　**蒸**(む)**し殺**(ごろ)しでない乙巳(いっし)の変
中大兄皇子(なかのおおえのおうじ)・中臣鎌足(なかとみのかまたり)らが蘇我蝦夷(えみし)・入鹿を滅ぼす。

６４６年　**むしろ**厳しい詔(みことのり)
孝徳天皇，４カ条にわたる改新の詔を発布。

６４７年　無視(むし)などできぬ柵(さく)を築造
蝦夷対策として越後国(えちごのくに)に渟足柵(ぬたりのき)を築造。翌年さらに磐舟柵(いわふねのき)を築造。

６５８年　向(む)こうは迷惑比羅夫(ひらふ)の遠征
阿倍比羅夫，斉明天皇の命で東北遠征。

６６３年　**ろくろくサ**エない白村江(はくそんこう)
日本軍，白村江の戦いで唐・新羅連合軍に敗れる。

６６７年　ムンムンな熱気大津宮(おおつのみや)
中大兄皇子，近江大津宮に遷都(せんと)。

６７０年 **ロクな例(れい)**なし庚午年籍(こうごねんじゃく)

氏姓を正す根本台帳として，永久保存の庚午年籍が作成される。

６７２年 **無難(ぶなん)に**勝利壬申(じんしん)の乱

壬申の乱で大海人皇子(おおあまのおうじ)が大友皇子〔弘文(こうぶん)天皇？〕を破る。

６７６年 ムニャムニャ…いつのまに新羅統一？

新羅，朝鮮半島を統一。

６８４年 無理(むり)やし今(いま)どき姓(カバネ)なんてね

天武天皇，真人(まひと)を筆頭に八色(やくさ)の姓を制定。

６９０年 禄(ろく)を記(しる)さぬ庚寅(こういん)年籍

持統天皇，庚寅年籍を制定。班田収授法スタート。

６９４年 **向(む)くよ**南を藤原京

持統天皇，飛鳥浄御原宮(きよみはらのみや)から藤原京(大和国(やまとのくに))に遷都。

７０１年 **なあオイ**律令(りつりょう)できたって？

文武(もんむ)天皇の命で，刑部(おさかべ)親王・藤原不比等(ふひと)が大宝律令を制定。

７０８年 慣(な)れやそんなもん銭(ゼニ)も大事や

元明天皇，和同開珎(わどうかいちん)を鋳造(ちゅうぞう)(皇朝(こうちょう)〔本朝〕十二銭(せん)の初め)。

奈良時代

７１０年 **南都(なんと)**その名は平城京(へいじょうきょう)

元明天皇，平城京(大和国)に遷都。

７１１年 内意(ないい)よりも銭(ゼニ)で出世

元明天皇，蓄銭叙位令(ちくせんじょいれい)を発布。

７１２年 無(な)いに等しい古事記の評価
太安万侶(おおのやすまろ)，稗田阿礼(ひえだのあれ)の暗誦(あんしょう)から古事記を編纂(へんさん)。

７１３年 内密(ないみつ)にせず各国のこと
元明天皇，諸国に風土記(ふどき)の編纂を命じる。

７１８年 無(な)いや違(ちが)いは養老律令
藤原不比等，養老律令を制定。

７２０年 何(なに)を記(しる)した日本書紀
舎人(とねり)親王ら，日本書紀(国史(こくし)のはじめ)を編纂。

７２２年 何(なに)に根拠(こんきょ)が百万町
長屋王らによる，良田(りょうでん)百万町歩の開墾計画。

７２３年 ナニ！三(さん)世一身ならやる気出ず。
元正(げんしょう)天皇，三世一身(さんぜいっしん)の法を発布。

７２４年 何(なに)しているの多賀城で
多賀城を築城，陸奥(むつ)国府と鎮守府を置く。

７２９年 ナニくそ謀反(ぼうへん)疑いやがって！
長屋王の変により，藤原光明子(こうみょうし)が臣下で初の皇后となる。

７３７年 なあ皆(みな)死んじゃったの？藤原四子
疱瘡(ほうそう)〔天然痘(てんねんとう)〕により藤原四子死亡。

７４０年 名(な)よおたけびの広嗣(ひろつぐ)の乱
大宰府で藤原広嗣の乱(式家)起こる。

７４１年　**名(な)よいつ**までも国分寺

聖武(しょうむ)天皇，国分寺建立(こんりゅう)の詔を発布。

７４３年　**無(な)しさ**期限は私財法

聖武天皇，墾田永年私財法(こんでんえいねんしざいほう)を発布。

７５２年　ナナコに救いを盧舎那仏(るしゃなぶつ)

聖武上皇・孝謙天皇による大仏開眼供養会(かいげんくようえ)。

７５４年　内視(ないし)できれば視力はいらぬ

前年に唐から鑑真(がんじん)が来日，この年来朝し戒律(かいりつ)を伝える。

７５７年　**泣(な)こうな**今年は奈良麻呂の変

藤原仲麻呂(南家)，橘奈良麻呂の変を鎮圧。

７６４年　**なあ無視(むし)**せんといてや押勝を

恵美押勝(えみのおしかつ)の乱(近江国(おうみのくに))。

７６６年　ナロ〜無茶苦茶(むちゃくちゃ)道鏡法王

道鏡，法王に就任(弓削(ゆげ)氏出身の法相宗(ほっそうしゅう)の僧)。

７６９年　夏向(なつむ)きだったか宇佐八幡宮(うさはちまんぐう)

宇佐八幡宮神託(しんたく)事件〔道鏡皇位事件〕。

７８０年　名(な)は大(おお)きいぞ呰麻呂(あざまろ)の乱

伊治呰麻呂(これはりのあざまろ)の乱。多賀城が焼かれ，按察使(あぜち)の紀広純(きのひろずみ)が殺害される。

７８４年　**名(な)は知(し)**ってるが長岡京

桓武(かんむ)天皇，長岡京(山背国(やましろのくに))に遷都。

７９２年　泣(な)くに泣けない健児(こんでい)の制

桓武天皇，一部を除き軍団制を廃止し健児の制を採用。

平安時代

７９４年　**無(な)くし**たものは寺(てら)と坊(ぼう)さん

桓武天皇，平安京(山城国)に遷都。

７９７年　泣(な)くな名誉(めいよ)の大将軍

坂上田村麻呂(さかのうえのたむらまろ)，征夷大将軍に就任(東漢氏(やまとのあや)出身)。

８０２年　晴(は)れに築城胆沢城(いさわじょう)

征夷大将軍坂上田村麻呂，胆沢城を築き鎮守府を移転。

８０５年　ヤレご意見は徳政相論

桓武天皇，藤原緒嗣(おつぐ)(式家)と菅野真道(すがののまみち)に天下の徳政を相論させる。

８１０年　**入(はい)れ**ば安心蔵人所(くろうどどころ)

蔵人所の設置。藤原冬嗣(ふゆつぐ)(北家)と巨勢野足(こせののたり)が蔵人頭(くろうどのとう)に就任。

８１１年　ハイ，いつでも東北平定

征夷大将軍文室綿麻呂(ふんやのわたまろ)，嵯峨天皇の命で蝦夷を平定。

８２０年　嫌(いや)に大(おお)げさ弘仁格式(こうにんきゃくしき)

嵯峨(さが)天皇，弘仁格と弘仁式を編纂。

８２３年　嫌(いや)に騒(さわ)ぐな？大宰府(だざいふ)周辺

嵯峨天皇，大宰府管内で公営田(くえいでん)(直営田の一種)を設置。

８４２年　**端(はし)に**寄っとけ承和(じょうわ)の変

承和の変で恒貞(つねさだ)親王の側近伴健岑(とものこわみね)・橘逸勢(たちばなのはやなり)が排斥(はいせき)される。

８５８年　や～いや，こんど摂政ですねん

藤原良房（北家），事実上の摂政就任。

８６６年　**野郎**(やろう)**ム**カつく応天門

応天門の変。藤原良房が正式に清和天皇の摂政となる。

８８７年～**ヤヤ何**(なん)とまあ阿衡(あこう)の紛議(ふんぎ)

藤原基経(もとつね)が正式に宇多天皇の関白となるが，阿衡の紛議を起こす。

８９４年　**白紙**(はくし)に戻す遣唐使

菅原道真(すがわらのみちざね)，宇多天皇に遣唐使停止を進言。

９０１年　**苦**(く)**をいつ**までも道真天神(てんじん)

昌泰(しょうたい)の変で右大臣菅原道真が大宰権帥(だざいのごんのそち)に左遷(させん)される。

９０２年　**暮**(く)**れに**延喜の荘園整理

醍醐(だいご)天皇，延喜の荘園整理令を発布。

９０５年　キュン♡をいつでも古今集

紀貫之ら，八代集の初めとなる古今和歌集を撰上(せんじょう)。

９０７年　暮(く)れなずむ大国(たいこく)，唐の滅亡

唐の滅亡，五代十国へ。

９１４年　くいしばっても地方は崩壊(ほうかい)

三善清行(みよしのきよゆき)，醍醐天皇に意見封事十二箇条を奏上(そうじょう)。

９３５年　クミコではなく将門(まさかど)反乱（将門の乱は939年～）

承平(じょうへい)・天慶(てんぎょう)の乱はじまる（～41年）。

９５８年 悔(く)いはあったが十二銭(せん)

村上天皇，乾元大宝(けんげんたいほう)を鋳造（皇朝〔本朝〕十二銭の最後）。

９６０年 苦労(くろう)して宋を建国

趙匡胤(ちょうきょういん)による北宋の建国。

９６９年 **黒く(くろ)**背後に安和(あんな)の変

安和の変で左大臣 源 高明(みなもとのたかあきら)（醍醐源氏）が大宰権帥に左遷される。

９８５年 苦(く)はご免(めん)です往生要集

源信(げんしん)〔恵心僧都(えしんそうず)〕，『往生要集』を著す。

９８８年 クハハ尾張(おわり)の元命(もとなが)終わり

尾張国郡司百姓等解(げ)（翌年，藤原元命は国司〔受領(ずりょう)〕を解任される）。

１０１８年 **父(とお)ちゃんいや**はや三立后(りっこう)

藤原威子(いし)が後一条天皇の中宮(ちゅうぐう)となり，道長が一家三立后を達成。

１０１９年 **遠(とお)いク**セして刀伊(とい)の入寇(にゅうこう)

刀伊〔女真(じょしん)〕が襲来。大宰権帥藤原隆家が率いる地方武士が撃退。

１０２８年 **人(ひと)をニヤ**ニヤ笑う忠常(ただつね)

平忠常の乱はじまる。1031年に源頼信が平定。

１０５１年 **いずれ強引(ごういん)**前九年(ぜんくねん)

前九年合戦(かっせん)はじまる。1062年に源頼義(よりよし)・義家(よしいえ)が平定。

１０５２年 床(とこ)についたか末法(まっぽう)到来

正法→像法を経て末法到来（永承(えいしょう)７年）。

＜ Note ＞